



## ウクライナ Ukraine



### たばこ産業の特徴

1. 2000年の年間国内消費数量は750億本、国内製造数量は約587億本（2001年は694億本）である。
2. 市場の95%は5大多国籍企業が投資した会社で占められている。
3. シガレットの輸出は2000年に69億本、輸入は18億本である。
4. ウクライナは違法な製品トランジットに利用されている。
5. ウクライナのたばこメーカーは、5大多国籍企業、旧ソ連邦に工場を持つウクライナのメーカー、原料加工施設を保有せず、1~2の巻包ラインを有する小企業の3つのグループで構成されている。

### [ 1 ] 法規制等

#### 警告文等:

包かの側面に標準の警告文「厚生大臣は警告する：喫煙は貴方の健康にダメージを与える」の記載が義務付けられている。

タール、ニコチンの含有量を包かに表示義務あり。

#### 喫煙場所規制:

公共輸送機関、教育施設、病院は喫煙禁止。職場、政府建物、国内・国際線は喫煙規制。

#### 広告規制:

メディア・タイプの広告あるいは広告戦略はたばこの広告には使用できない。

しかしテレビでの広告は午後10時以降は認められている。屋外広告や新聞広告は規制されている。

#### 販売規制:

18歳未満の未成年にはたばこ製品販売禁止。

特定の場所でのたばこの小売は許可されない。

#### 販売促進:

サンプリングは禁止。スポンサーは許されている。

### [ 2 ] 税制

1993年に国産シガレットに70%の税金をかけたが、消費減退で在庫が増えたために減税され、フィルタ付きの税率は50%、プレーン・シガレットは35%になった。

### [ 3 ] 市場概況

- 1990年には11箇所の工場で800億本を製造していた。1987年以前のウクライナは輸出能力があり、製造本数の25%をロシアへ輸出していた。多国籍企業は人口5千万人のこの市場を長期的に見ている。マーケット構造と密輸のためにウクライナでは国際ブランドが製造されていなかったが、1996年にReemtsmaがWestの製造を開始した。2000年の年間国内消費数量は750億本、国内製造数量は約587億本である。
- 鉄のカーテンが無くなった後に参入した多国籍企業は、ウクライナのシガレット製造数量の95%を占めている。外国企業の参入により、シガレットの製造数量や品質は著しく向上し、アメリカンブレンドへの傾向は国際ブランドのみならず国内ブランドにも及んでいる。
- 2001年のシェアはPhilip Morris、Reemtsma、BATが27~28%、JTIが11%である。
- 2002年の10ヶ月間の製造数量は669億本で前年同期に比べて14.9%増。市場の95%は5大多国籍企業が投資した会社で占められている。Liggett-Ducat Ukraineが大手企業チームに加わった。BAT Ukraineは198億本（27%増）、Reemtsma Ukraineは176億本で大幅に増加した（59.4%増）。
- シガレットの輸出は2000年に69億本、輸入は18億本である。

シガレット（単位 100万本）

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年
製造数量	54,487	58,806	53,727	57,850	69,440
輸出数量	na	na	na	6,900	na
輸入数量	na	na	na	1,800	na

\*製造数量は主要10工場の合計データ

#### [4] 製品概況

主なブランド：

Prilucky, Pwatra, Polet, Kosmos, Express, Prima, Orbita, Stoychny, Filter, West, Monte Carlo, Chesterfield, Winston, Bond,

- ・製品は、フィルタ付き、プレーン、パピロシの3つに明確に分かれている。
- ・市場には30の国産ブランドがあり、プレーンではCosmos、フィルタ付きはFilterが最もよく売れている。これら以外に国際ブランドのMarlboroやCamelがある。
- ・トップセラーはPrimaとVatraで、ウクライナには商標権がないためにこれらのブランドは複数の工場で製造されている。
- ・他の国と同じようにフィルタ無しシガレットは急激に減少しており、1997年の404億本から、2000年には125億本になっている。

#### [6] 流通

- ・国営の卸売りと、小売店を通じて販売されている。
- ・酒とシガレットの小売りは特別店とキオスクのみに制限する計画がある。
- ・シガレットを広く流通させるために、国際メーカーは取引の組織化とスタッフの訓練を行って、機能的な卸売業と小売りセクターを作り上げようとしている。
- ・関税当局によれば、2000年に107億本のシガレットが合法的にウクライナ経由で各国に送られた。これらの合法的な製品の一部はウクライナ国内で違法販売されている。また、ウクライナは違法な製品トランジットにも利用されている。中東欧での密輸活動は、主にイギリス、オランダ、ドイツで製造された製品について行われている。これらの製品は正規輸出された後、密輸製品として西ヨーロッパに流入してくる。ウクライナはロシア、中国から西ヨーロッパへの製品移送にも使われている。
- ・ウクライナのメーカーと政府は、ロシアやベラルーシから安いシガレットの密輸品流入と戦っている。密輸が多い理由は近隣諸国に比べてウクライナの物品税が高いためである。業界観測筋は2000年の違法輸入品は42.5億本、密輸は50億本に達すると見ている。
- ・たばこアルコールの国家専売に関する大統領令を実施するために、この二つの業界の製造と販売に関する政府管理の新しい命令法案が提案された。これによれば、たばこ卸売業、小売業、輸入業の免許税は大幅に引き上げられる。シガレットの卸売業の免許税は年間17万UAH（現在は5,000UAH）、輸入業者は40万UAH（同17万UAH）、輸出業者は5,000UAH（同1,700UAH）に増税される。

#### [7] 企業概要

- ・1990年代初めにたばこシガレットの専売制が廃止された。多国籍企業は旧国営工場11の内6工場と合併会社を設立し、旧ウクライナたばこ工場の民族系は1994年には5つになった。2001年にたばこ製造で25企業が免許を得たが、その内の1社は操業していない。
- ・ウクライナのたばこメーカーは主に3つのグループに分けられる。メインのグループは5つの多国籍企業で構成されている第1グループである。合計年間シガレット製造能力は550億本、シェアは95%である。2001年前半の市場リーダーはBAT Prilukyで市場シェアは27.6%。次いでPhilip Morris Charkovが27.3%、Reemtsma-Kievが18.1%、JTI-Kremenchugが11.8%、Reemtsma-Cherkassyが11.3%。Reemtsmaはウクライナのキエフとチェルカッスイに2工場を持っているが、2001年末にチェルカッスイ工場はイギリスのGallaher Groupに売却された。
- ・第2のグループは旧ソ連邦時代の工場を持つウクライナのシガレット・メーカーである。国内投資家は民間の国内投資家に売却された旧RJR-Lvivシガレット工場のように、彼らの工場に徐々に投資をし始めた。このグループの年間製造数量は1995年の100億本から、2000年には20億本にまで減っている。主にノンフィルター製品を製造している。
- ・第3のグループは原料加工施設を持たず、1つあるいは2つのシガレット巻上・包装ラインのみを有する約20の小企業である。
- ・主な企業：BAT Prilucky、Philip Morris Kharkov、Reemtsma Kiev、Kremenchug TF(JTI)、Cherkassy TF（2001年にGallaher Groupが買収）、Lviv TF。

##### Philip Morris:

1994年に600万ドルを投じてKharkov工場の株式の51%を保有。  
1995年に1,000万ドル資本を追加して75%の株式を取得。製造能力は200億本。  
PMの関連会社のKraft Foodsはウクライナの大手のチョコレート会社の株式の88%を買収している。  
PMは既にウクライナに工場があるが、ウクライナ第二の都市ハリキフに敷地31.5ヘクタールの新工場を建設する。  
PMは今までにKharkiv工場に6,200万ドルを投資して、2001年には190億本を製造した。  
新工場は年産250億本の予定である。PMはこの新工場に更に1億ドル投資する。  
ハリキフの旧工場は閉鎖されるかもしれないが、最初は両工場とも平行して稼働されるかもしれない。

##### BAT:

キエフにあるウクライナ最大のPriluky工場を買収し、BAT Priluckyの株式を65%保有。  
これまでに2,500万ドルを投じている。

**Reemtsma ( Imperialが買収 ) :**

1993年にウクライナ市場へ参入した。

Reemtsma Cherkassy Tyutyunova Fabrika (92%の株式を保有、3,100万DMを投資、製造能力は120億本、従業員800名)とReemtsma Kiev Tyutyunova Faqblika (87%の株式を保有、1,400万DMを投資、製造能力は80億本、従業員650名)の2箇所を所有。

旧キエフ工場を建て替えて新工場が1998年に完成。この工場の製造能力は300億本。

ウクライナへの投資総額は1億DM。

シェアは25%。

**JTI ( IORJR ) :**

Lvivskaya TabacとKremenchuk Tabaknayaの2工場に960万ドルと730万ドルをそれぞれ投資した。

Lviv工場は1998年に閉鎖された。

JTIは現在Kremenchuk Tabaknayaの株の92%を所有している。

**Gallaher Group :**

2001年末にReemtsmaのチェルカッス工場を買収。

Gallaherの子会社Liggett-Dicat Uktaineが経営する。

工場の改善と高速機を導入した。

主なブランドはLD、LD Gold、LD Platinum。

**Bulgartabak :**

1999年にポルタバに合併企業を設立した。

**Tobakprom:**

シガレットとパピロシの旧国営企業。

工場はKiev、Lviv、Cherkassy等11箇所あったが、他国籍企業が6箇所の工場の株式を所有したために、現在はPoltava、Donetsk、Monastyrische、Kamenets-Podolsky、Odessaの5工場に減少。

利益が出ず、近代化の資金もなく、ロシア市場を失っており、存続が困難視されている。

**メーカー別製造数量データ ( 単位 億本 )**

	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年
Philip Morris Kharkiv	36.4	77.8	106.2	94.3	144.5	190.8
BAT Priluki	101.5	100	84.7	64	107.7	190.1
Reemtsma	167	237	293	281.6	221.5	198.1
JTI	71.9	87.7	61.3	52.7	83.4	73.8
Ukrainian Factories in total	72.2	41	45.7	47	29.3	40.8
合計数量	449	544	591	539	587.3	694.4

**[9] 葉たばこ概況**

ウクライナの葉たばこ生産は徐々に減少している。

1990年の約1万3,000トンから2000年には5,600トン、2001年には3,800トンになっている。

業界筋によれば更に減少すると予測される。

主にオリエンタ葉であり、国内メーカーが使用している。

**葉たばこ統計 ( 単位トン )**

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年
生産数量	na	na	na	na	na
輸出数量	na	na	na	na	na
輸入数量	47,000	45,000	45,000	45,000	45,000